

The background features a stylized world map in shades of blue and white. Several orange dots are scattered across the map, primarily in the Asia-Pacific region. In the foreground, a group of silhouettes of business professionals in suits are walking towards the viewer on a glowing blue path. The overall aesthetic is futuristic and corporate.

輝く未来の創造「メーカー商社」として世界の産業界に貢献します。

第75期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

RIX リックス株式会社

証券コード 7525

事業紹介

商品

圧力発生機

プランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

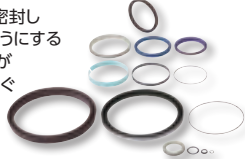
異種金属板を接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し
外に漏れないようにする
外部からダストが
侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を調整する弁
主にタイヤメーカーの
加硫機に使用



製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、BGA等)の製造工程に使用されるフラックスを除去し、純水にて精密仕上げ洗浄を行う装置



NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス)

自動車業界向けの、高圧水を利用した部品の深穴の金属バリ取装置



付属機器・部品

クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設備などに水や研磨剤などを供給する回転継手



工作機械用ロータリージョイント



マシニングセンターでクーラント液をスピンドルから噴射する用途に使用する回転継手

営業区分

リックスはお客様のニーズに迅速・的確に対応できる顧客密着型の「メーカー商社」という業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

商社機能

メーカー機能

ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症拡大の一日も早い収束と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。
さて当社第75期中間期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第75期中間報告書をお届けします。
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 安井 卓

課題解決型の「メーカー商社」として世界の産業界に貢献します。

Q 当中間期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は19.0%減の172億78百万円、営業利益は45.9%減の6億69百万円、経常利益は43.1%減の7億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は42.7%減の4億83百万円となりました。

当中間期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況ははまだ改善しておらず、依然として先が見通せない状況で推移しました。

一方、日本経済は、緊急事態宣言解除後の個人消費や生産の持ち直しがみられるものの、景気の先行きが不透明であることから設備投資に対して企業が慎重な姿勢を示すなど、引き続き厳しい状況の推移となりました。

このような経済環境の中、当社グループでは引き続き中期3か年計画「戦略ビジョン2020」に基づく施策に取り

組み、第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高172億78百万円(前年同期比19.0%減)、営業利益6億69百万円(同45.9%減)、経常利益7億38百万円(同43.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億83百万円(同42.7%減)という結果になりました。

Q 当中間期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 電子・半導体業界向け・環境業界向けで増収を確保するものの、各業界において厳しい状況となりました。

鉄鋼業界向けでは、『安全・防災・自動化への対応』や『メンテナンス・修理・再生サービスの拡充』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、製鋼工程向けで解体機や熱延工程水処理設備向けプランジャーポンプの受注は好調であったものの、製鋼用副資材やバルブ、厚板工程向け圧延ロール、伸縮継手、ジャバラ等の受注が落ち込み、前年同

期の実績を下回る推移となりました。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は55億40百万円(前年同期比21.3%減)となりました。

自動車業界向けでは、『顧客開発部門との協働』や『製造工程の自動化対応』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、自動車部品メーカー向けで超硬加工部品やメッキ剥離装置の引き合いが強かったものの、自社洗浄装置やポンプ類、工作機械業界向けの自社継手製品や自社浮上油回収機の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は39億80百万円(前年同期比27.4%減)となりました。

電子・半導体業界向けでは、『メーカー機能・修理サービス事業強化』や『車載用半導体分野の開拓』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、自社洗浄装置の受注は落ち込んだものの、電子・半導体メーカー向けにセラミックス加工品、自社継手製品やポンプ類の受注が伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は21億25百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、『未来の環境対応車用タイヤ

への対応力強化』や『海外事業拡大』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、タイヤメーカー加硫設備向けブローを受注したほか、油圧機器類の受注が伸長しましたが、タイヤ加硫機用バルブの受注が大幅に落ち込んだことに加え、自社継手製品やショットブラスト装置の受注も落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は10億60百万円(前年同期比25.5%減)となりました。

高機能材業界向けでは、『炭素繊維・高機能ガラス・樹脂フィルム分野への深耕』を課題として諸施策に取り組んだ結果、硝子メーカー向けで洗浄装置、製薬会社向けでポンプユニット受注が伸長しましたが、非鉄金属メーカー向け廃棄物処理プラントの受注が大幅に落ち込んだことに加え、同じく非鉄金属メーカー向けで削岩機器類の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は8億92百万円(前年同期比29.0%減)となりました。

環境業界向けでは、『水処理関連事業の拡大』や『エネルギー分野への対応強化』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、下水施設向けで配管設備を受注したほか、環境プラントメーカー冷却設備向けでダンプの受注が伸長、ジャバ

ラや自社継手製品の受注も伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。

この結果、環境業界向け全体としての売上高は8億52百万円(前年同期比25.0%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、『ケミカル素材分野への深耕』や『メンテナンスビジネス推進』などを課題として諸施策に取り組んだ結果、製紙会社調薬設備の修理や抄紙工程のメンテナンスを受注したものの、大型案件の受注に乏しく、前年同期の実績を下回る推移となりました。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は3億74百万円(前年同期比32.5%減)となりました。

Q 下半期の展望などについてお聞かせください。

A 一部海外での回復の動きを踏まえ、通期の業績予想を上方修正いたしました。

当第2四半期までの実績は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、鉄鋼業界や自動車業界など当社グループの主要顧客業界における設備投資の削減などにより、売上高は大きく減少しましたが、一方で経費削減などにより利益

面では従来予想から上振れいたしました。第3四半期以降についても、国内は引き続き厳しい状況が続くものと想定していますが、海外においては、中国や米国の子会社で受注の増加がみられるなど、一部に回復の動きが出てきております。このような状況を踏まえ、通期の業績予想を上方修正いたしました。

Q 株主還元の状況など株主様へのメッセージをお願いします。

A 1株当たり15円の間配当を実施させていただきました。

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な課題の一つと捉えて事業経営にあたっております。

当中間期末では1株当たり15円の間配当を実施させていただきました。なお当期末では1株当たり15円の配当を予定し、これにより年間配当金は1株当たり30円となる見込みです。

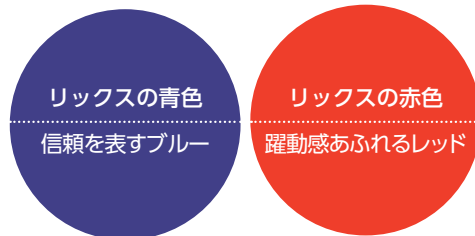
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

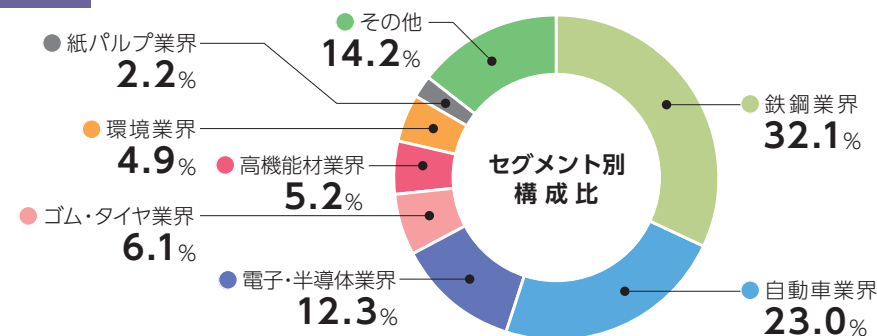
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY (工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	科目	前期末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	24,102	22,689	流動負債	12,600	10,973
固定資産	6,224	6,438	固定負債	1,309	1,338
有形固定資産	3,019	3,050	負債合計	13,909	12,312
無形固定資産	135	126	純資産の部		
投資その他の資産	3,069	3,260	株主資本	15,832	16,103
資産合計	30,326	29,127	資本金	827	827
			資本剰余金	1,057	1,057
			利益剰余金	14,355	14,626
			自己株式	△407	△407
			その他の包括利益累計額	277	388
			非支配株主持分	307	323
			純資産合計	16,417	16,815
			負債・純資産合計	30,326	29,127

連結損益計算書 (単位: 百万円)

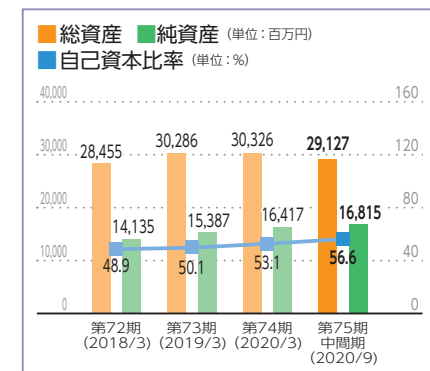
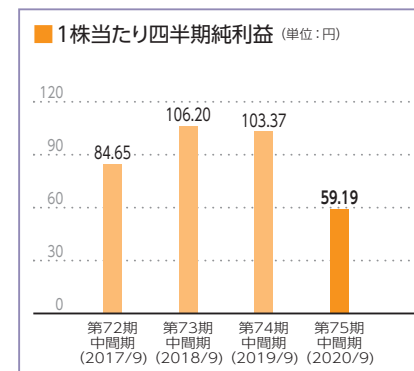
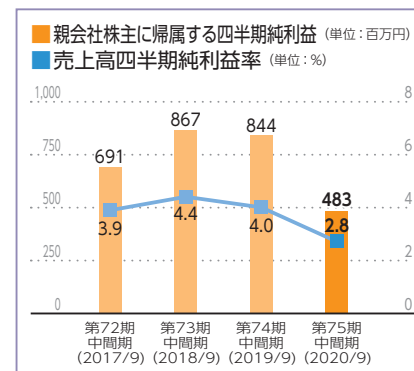
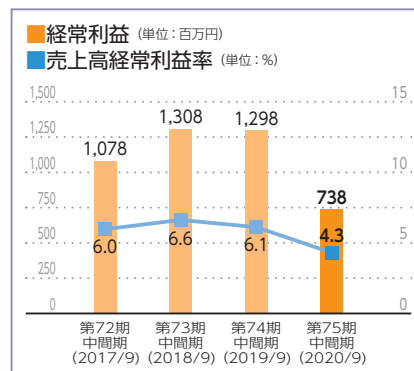
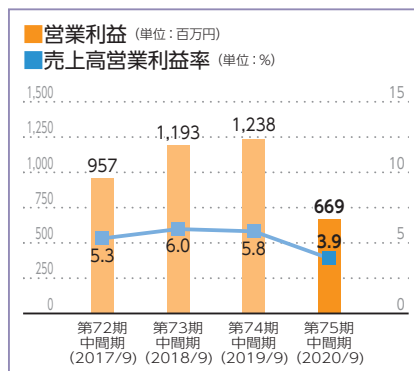
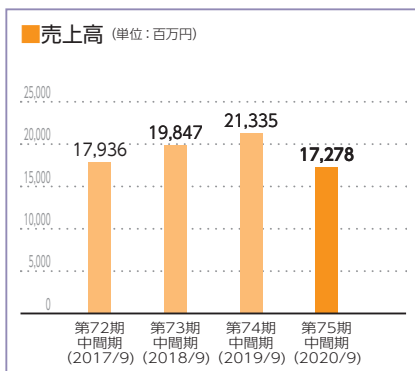
科目	前第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	21,335	17,278
売上原価	16,720	13,498
売上総利益	4,614	3,780
販売費及び一般管理費	3,375	3,110
営業利益	1,238	669
営業外収益	84	85
営業外費用	25	17
経常利益	1,298	738
特別利益	3	5
特別損失	16	4
税金等調整前四半期純利益	1,286	738
法人税等	426	241
四半期純利益	859	497
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	844	483

連結包括利益計算書 (単位: 百万円)

科目	前第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
四半期純利益	859	497
その他の包括利益	△144	114
その他有価証券評価差額金	△116	151
為替換算調整勘定	△22	△35
退職給付に係る調整額	△4	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
四半期包括利益	715	612
(内 訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	701	594
非支配株主に係る四半期包括利益	13	17

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	前第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	当第2四半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,295	1,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240	△450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	915	1,051
現金及び現金同等物の期首残高	4,307	5,875
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	128	99
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,351	7,026



当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2018年度より中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

戦略ビジョン2020

2018年度～2020年度

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップさせながら、新製品開発・新事業開発・新市場開発を推進し、新しい高付加価値を創り出します。その高付加価値を、各々の業界分野のナンバーワン顧客企業に、適時にまた安定して、世界中どこにでも、提供できるグローバルニッチトップの開発型企業集団を目指します。

目標

経常利益(連結)
30億円
の達成

方針

1. メーカー商社のビジネスモデルの更なる進化

- ① 開発機能の強化(製品、商品、市場)
- ② 顧客接点でのPDCAのスピードUP
- ③ メンテナンス機能・品質保証機能の強化

2. グローバル展開の加速

- ① 自社・ブランド商品の世界販売加速
- ② グローバルニッチトップ商品の開発強化
- ③ 中国・北米・欧州の事業強化

3. リックスグループとしての協業強化

- ① グループにて戦略の統一性
- ② 事業機能集約による最適化・オンリーワン化
- ③ 統括機能の強化(各社GNTを目指す)

4. 人と組織の能力向上

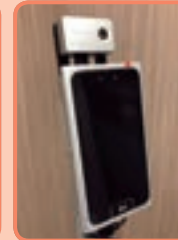
- ① 人事・教育制度の根本的な見直し
- ② 営業支援システムの刷新
- ③ CSR強化

デジタル事業開発部を設立しました

社会現象である労働人口の減少に伴いデジタル化が加速している中で、リックスとして自動化・デジタル新商品に取り組むため、2019年にデジタルプロジェクト推進室を立ち上げ、準備を進めてきました。約1年間の活動を経て、今後の事業化に向けた取組みを強化するため、10月1日より「デジタル事業開発部」として設立しました。



産業用超音波カメラ



AI温度検知システム



産業用超音波カメラ



遠隔支援システム(スマートグラス)

自動車事業部 小倉営業所を新設しました

自動車事業部の営業所として豊田営業所 九州出張所を廃止し、自動車事業部 小倉営業所を開設しました。

部署名 営業本部 自動車事業部 小倉営業所

所在地 福岡県北九州市小倉南区下曾根4丁目25-23
オフィスパレア下曾根I 3号室

開設日 2020年10月1日

営業品目 ハイブリッド自動車用部品製造設備及び周辺機器の販売、機械加工品の販売等



海外ネットワーク

(2020年10月1日現在)



事業所

(2020年10月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、海外事業本部
営業本部	■営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所、小倉営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■生産本部
研究・開発所	▲技術開発センター ▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所 事業開発本部



会社概要

(2020年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 436名(連結678名)
- 主要な事業内容 高圧圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役および監査等委員である取締役

(2020年9月30日現在)

代表取締役社長 安井 卓	取締役 伊佐 清人
代表取締役副社長 柿森 英明	取締役 田原 俊二
専務取締役 川久保 昇	取締役 坂本 克彦 (常勤監査等委員)
常務取締役 苅田 透	取締役 小西 正純 ^(*) (監査等委員)
常務取締役 芹川 康介	取締役 植松 功 ^(*) (監査等委員)
取締役 橋本 忠	取締役 大山 一浩 ^(*) (監査等委員)
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(*) 社外取締役

株式の状況

(2020年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 5,604名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
安井玄一郎	394	4.82
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リック取引先持株会	340	4.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	249	3.05
リック従業員持株会	241	2.95
安井龍之助	196	2.40
園田和佳子	171	2.09
山田貴広	166	2.04
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	158	1.93

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式457千株を保有しております。

株式分布状況

(2020年9月30日現在)

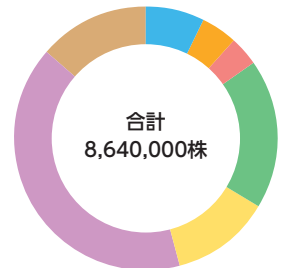
所有者別株式分布状況

- 個人・その他 48.58%
- 自己株式 5.30%
- 金融商品取引業者 0.75%
- 金融機関 21.21%
- その他の法人 22.83%
- 外国法人等 1.33%



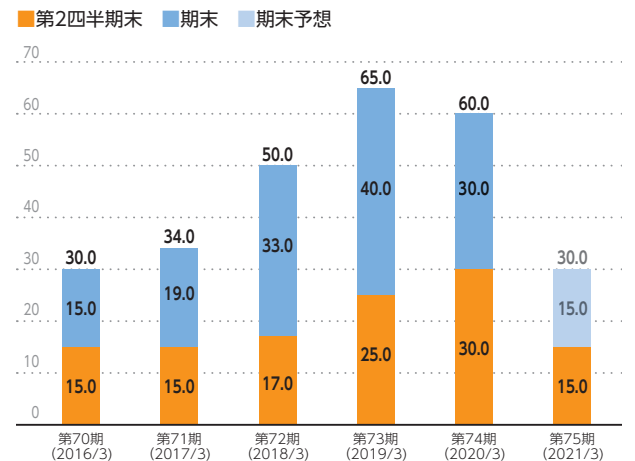
所有株数別株式分布状況

- 10単元未満 7.36%
- 10単元以上 4.53%
- 50単元以上 3.52%
- 100単元以上 18.25%
- 500単元以上 12.36%
- 1,000単元以上 40.46%
- 5,000単元以上 13.52%



1株当たり配当金の推移

(単位:円)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領 期末配当金 3月31日
株主確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種手続の申込先について

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索 



 リックス株式会社

〒812-8672
福岡市博多区山王一丁目15番15号
TEL (092) 472-7311

 UD
FONT

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

 VEGETABLE
OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。